



闇バイト募集は、犯罪実行者の募集!! 絶対に手を出さないでください。

闇バイトは、犯罪です。SNSやインターネットの掲示板などに、短時間で高収入が得られるなどと甘い言葉で普通のアルバイトを装い募集します。簡単に高収入が得られると思い応募してしまうと、犯罪グループに脅され続け、強盗や詐欺といった犯罪に加担することとなり、警察に逮捕されるまでやめられず使い捨てられるのが現状です。犯罪を実行すると被害者の財産を奪い、生命・身体を危険にさらし、被害者に一生消えない大きな心の傷を与え、人の命を奪う重大な結果を引き起こすこともあります。

闇バイト募集は、犯罪実行者の募集です。青少年の皆さん、闇バイトに絶対に手を出さないでください！青少年が闇バイトに手を出さないように社会全体で共通意識をもち、青少年に働きかけることが大切です。

実例：闇バイト募集【7種のキーワード】に気を付けよう！（警察庁資料抜粋）

闇バイト(犯罪実行者)の募集は、一見普通のアルバイト募集のように見えても大きな特徴があります。

1	募 集 手 段	SNS（大部分が通信アプリ X（旧 Twitter））を使用している。
2	報 酬 額	高額であることを強調する。（「高額バイト」「高収入」「日給 5 万円から」等）
3	報 酬 支 払 い	即日に支払われることを強調する。（「即日払い」「即日即金」「お金配りますよ」等）
4	業 務 内 容	人又は物の運搬や荷物の受取りなど簡単な仕事であることを強調する。（「運びの仕事」「ドライバー」「送迎」「書類運搬」「荷物を運ぶ仕事」等）
5	業 務 の 性 質	違法ではないことを強調する。（「ホワイト案件」「ホワイトバイト」等）
6	募 集 条 件	即座に参加できること（「即日バイト」「本日稼働可能」等）誰でも応募できることを強調（「全国で募集」「女性も活躍中」「年齢不問」等）また運搬等の業務に対応できること（「要普通免許」等）を条件としている場合もある。
7	応 募 の 手 段	X（エックス）でのやりとりから、匿名性の高い通信アプリ「シグナル」「テレグラム」に誘導されることが多い。

闇バイトに応募してしまったら、信頼できる周囲の大人や警察に相談！

「闇バイト」に応募してしまったら…勇気をもって抜け出し、最寄りの警察へ相談してください。



- 警察相談専用電話 # 9110
- 大津少年サポートセンター電話：077-521-5735
- 米原少年サポートセンター電話：0749-52-0114

※大津・米原少年サポートセンターは、月～金曜日（祝日・年末年始除く）午前8時30分～午後5時15分まで



YouTube
「気を付けよう
闇バイト」動画

相談日のお知らせ

ひとりで悩まないで… 気軽に相談を！

- ◆ 相談日時：月曜日～金曜日 8:30～17:00
- ◆ 連絡先：東近江市少年センター 東近江市五個荘竜田町 2-3
TEL・FAX 050-8034-6519
Eメール shonen@city.higashiomi.lg.jp
- ◆ 臨床心理士の相談日時…月曜日・金曜日（東近江市少年センター）10:00～15:00
※臨床心理士への相談は事前予約をお願いします。



東近江市 少年センターだより

vol
261
2025.3

東近江市五個荘竜田町 2-3

TEL・FAX 050-8034-6519

「地域を愛し、地域とともに歩む 子どもたちのために」

東近江市立湖東中学校長 安田 浄



毎朝、校門や昇降口で登校してきた子どもたちを迎えます。笑顔で元気に「おはようございます」と挨拶してくれる子どもたち。校舎の窓から手を振ってくれる子どもたちもいます。心が豊かになるうれしい瞬間です。廊下で出会うと「校長先生！」と話しかけてくれる子どもたちもたくさんいます。そんな子どもたちを見ていると、幼いころから挨拶の大切さや人と接するときには大事にするべきことを教えてもらってきたのだらうと感じます。そして、地域みなさんも温かく子どもたちを見守っておられるのだらうと。学校にいと地域みなさんからいろいろな話を伺います。「いつも学校から帰ってきたら私に挨拶してくれるんですよ」「横断歩道で止まったら丁寧に頭を下げてください」など。嬉しいお話を聞いたらすべて子どもたちに伝えています。そうやって健全に育っていくのだらうと思います。

子どもたちを取り巻く環境はどんどん変化してきています。私たちが育ってきた環境とは大きく違います。ネット社会に生きる今の子どもたちにとっては、SNSを通してのコミュニケーションが中心となっています。しかし、集団生活である学校生活においては直接仲間たちと交わります。だから、様々なトラブルも起こります。「自分の思いを言葉で伝えること」が苦手で情緒が乱れたり、「相手の気持ちを考える」ことができずに乱暴な言動で仲間を傷つけたりすることがあります。そのような子どもたちに対して、起こしてしまった問題行動を叱りつけるだけでは何の問題解決にもなりません。丁寧に寄り添って、時間をかけて話を聞き、何がダメなのか、どうすればよかったのかを自分の中で理解できたときに、はじめて「ごめん」という言葉が出てきます。気持ちが

落ち着いているときには素直に話を聞くことができます。その時にどんな話をするかでその後の生活が変わっていくと思っています。

時代は変わっても、子どもたちは人とのかわりから多くのことを学びます。地域を愛し、地域とともに歩む子どもたちの健全育成のため、家庭や地域、学校が協力して、これからの将来を担う子どもたちを見守っていきたいと考えています。



東近江市少年センター 善行少年表彰

東近江市少年センターでは、功績顕著であり、その行為が他の模範と認められる個人・団体を表彰しています。今年度も「善行少年表彰規程」に定める選考委員会での審査により、次の方々を表彰しました。



八日市北小学校（左から）
5年 中井 咲希さん 村田 美怜さん
須谷 慧さん 菊井 もとさん
西田 結理さん

（概要）下校時に路上に散乱していたゴミを拾い集めた。

それぞれ、ゴミ袋になりそうなものを探したり、ゴミを拾ったりした。どうしてもゴミを触れない子が、「自分がゴミ袋を持って帰る」と言い、自宅に持ち帰った。

聖徳中学校
1年 和田 倫太郎さん

（概要）下校途中に歩道の柵の上に財布が置いてあるのを発見し、交番に届けた。後日、持ち主がわかり、警察と持ち主からお礼を言われた。



聖徳中学校（左から）
2年 渡辺 結心さん 荒居 莉菜さん

（概要）下校途中、図書館前でタクシーを降りた両足が不自由なおばあさんに道を尋ねられた。2人はおばあさんの目的地を探すが見つからず、図書館に大人を呼びに行った。その後、図書館スタッフの協力で、おばあさんは無事目的地にたどり着いた。その後、おばあさんから図書館にお礼の手紙が届き、2人にも感謝している旨が綴ってあったので、図書館より学校へ連絡があった。

聖徳中学校
2年 東木場 皐さん

（概要）小学4年生の児童が、鍵がないと家の前で泣いていた。小学校に相談に行くよう優しく声をかけ、連れて行った。児童の保護者と連絡が取れるまで小学校で一緒に待ち、保護者から「生徒宅で預かってほしい」と頼まれた。その後、児童の保護者が自宅まで迎えに来たことを小学校へ報告に行った。



玉園中学校（左から）
3年 大前 光依さん 清水 悠二郎さん

（概要）2人が友人宅へ向かう途中、消防署裏の畑で、迷子になっている一匹の犬を見つけた。すぐに消防署員に相談をした。その後、2人で犬を追いかけて安全に確保し、近くの板金工場の従業員さんに犬を預けた。後日、犬の飼い主から学校へ感謝の電話をいただいた。



令和6年における東近江警察署管内の少年非行の現状

令和6年中の少年の検挙・補導状況 (のべ人数)

		令和6年	令和5年	前年比
刑法犯少年	犯罪少年	23	65	△42
	触法少年	21	29	△8
	小計	44	94	△50
特別法犯少年		6	1	5
不良行為少年		347	475	△128
合計		397	570	△173

★★★ 用語の説明 ★★★

- 刑法犯少年
刑法の罪を犯した少年（交通事故による業務上過失を除く）
- 犯罪少年
14歳以上20歳未満で罪を犯した少年
- 触法少年
14歳未満の少年で刑罰法令に触れる行為をした少年
- 特別法犯少年
特別法令に違反する行為をした少年（交通関係法令違反を除く）
- 不良行為少年
不良行為（罰則の適用はないが、喫煙等少年の健全育成上やめさせるべき行為）をしている者で、そのまま放置すると非行に進む危険性のある少年

◆ 刑法犯少年検挙・補導状況

- ・刑法犯で検挙・補導された少年は44人で、前年に比べ50人減少しています。
- ・罪種別では、暴行や傷害等の粗暴犯（15人）が全体の約34%を占めており、次いで万引きや自転車盗等の窃盗犯（14人）が約32%を占めています。
- ・学職別では、中学生22人、小学生7人、高校生8人、有職少年6人、無職少年1人を検挙・補導しています。

◆ 不良行為少年補導状況

- ・不良行為での補導は347人で、前年に比べ128人減少しています。
- ・行為別では、喫煙が最も多く152人、次いで深夜徘徊105人、粗暴行為31人、怠学25人、飲酒12人、家出5人、無断外泊3人、暴走行為2人、その他12人となっています。
- ・学職別では、中学生143人、高校生81人、無職少年66人、有職少年41人、小学生8人、その他の学生8人を補導しています。
※人数はのべ人数です。

永源寺地区少年補導員会の活動

子どもたちの安心・安全を願って！

永源寺地区少年補導員会 幹事 若林 淳一

永源寺地区少年補導員会は、現在、男性4名、女性4名の計8名の少年補導員が活動しています。定期的に少年センターの青パトに同乗し、小中学校の下校時に地区内の通学路をパトロールし、「お帰り」の声掛けを通じて交流を図っています。また、校門において登校時のあいさつ運動や下校指導も行っており、青パトや少年補導員の存在を知ってもらうとともに、子どもたちの安全を図っています。

令和5年には、永源寺もみじ幼稚園の「誘拐防止教室」で啓発指人形劇を行い、令和6年7月には市原小学校で、2、3年生対象に「万引き防止教室」を行いました。両教室とも少年センターから青パトで来て頂き、また、東近江警察署生活安全課の方から気を付ける点を子どもたちにお話して頂きました。みんな熱心に見てくれました。

毎年7月に行われる永源寺地区まちづくり協議会主催の夏祭りイベント「みんなの夏休み」では、コロナ期間中は、啓発活動を中心に行っていましたが、令和6年の夏祭りでは、終了まで会場内のパトロールを行い、安全に帰宅できるよう見送りました。久々の夏の夜のイベントを楽しく過ごされたと思います。

